

## 対談 《企業 × デザイナー》

# 「デザインが加わると企業は変わる!？」

### 第二回

## 「tempo」の歩み

家業だった組み立て製造業を引き継いだものの、下請けではなく自社で製品を作りたいという思いから、独自に活動してきた有限会社 mother tool 代表の中村実穂氏。右も左もわからないところからのスタートでしたが、今ではその過程で出会った地元工場の人たちやデザイナーたちと一緒にものづくりをしています。

そんな中、DRILL DESIGN をデザイナーに迎え、ともにモバイルのブランド《tempo》を立ち上げました。多くのデザイナーを巻き込み、素材を生かしたモバイルを開発しています。

家業の組み立て製造業という下請け業から一転、全国的なプロダクトメーカーとして活動の幅を広げています。

動く彫刻ともいわれるモバイル。そのプロダクトブランド《tempo》。第二回となる対談では《tempo》を立ち上げた当初の話、そして歩んできた過程について、有限会社 mother tool 代表の中村実穂氏と、DRILL DESIGN の安西葉子氏にお話を伺います。

有限会社 mother tool 代表  
プロダクトメーカー

中村 実穂

DRILL DESIGN  
クリエイティブディレクター / アートディレクター

安西 葉子

キーワードは  
モチベーション？

平成 29 年

12月14日(木)

《対談》 15:00～16:30

《交流会》 17:00～19:00

会場 埼玉県立近代美術館 2F 講堂

参加費 《対談》無料

《交流会》3,500 円

定員 50 名 (申込先着順)

対象 製造業、デザイナー、支援機関の方など、  
商品開発に携わる機会を有する方

主催 埼玉県産業技術総合センター

お申し込みの詳細は裏面へ

# 共有、共感。そして理解。

この対談企画の目的は、普段交わる機会が少ない企業、デザイナー、支援機関の皆さんが同じ場に居合わせ、普段感じている疑問を共有し、互いに理解を深めること。

デザインってどんな仕事なのか、どんな風に取り入れたらいいのか、デザイナーってどうやって探せばいいのか、そもそもどうやって商品開発を進めたらいいのか。中小企業の方の中にはこんな疑問を持つ方もいるでしょう。それらの疑問に対する一つのヒントを得る機会になるはずです。

また、デザイナーにとっては、中小企業の皆さんが思っている疑問や不安を知る貴重な機会となるでしょう。その新たな理解が次の活動につながることを願っています。



## 有限会社 mother tool

mothertoolは栃木県足利市にある2006年設立のアッセンブリーメーカーです。母体となった工業製品のアッセンブリーから何が出来るか、いろいろな産地の技術や素材を組み合わせることから始まり、アッセンブリーが要のプロダクト「モビール」のブランドtempoを2013年に立ち上げました。いろいろな素材、工場、デザイナーとともに、ものづくりをしています。



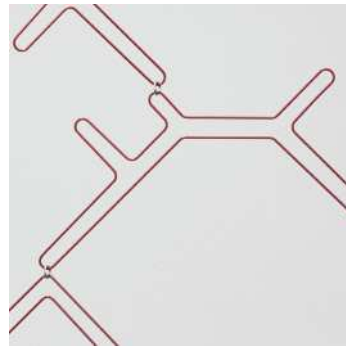
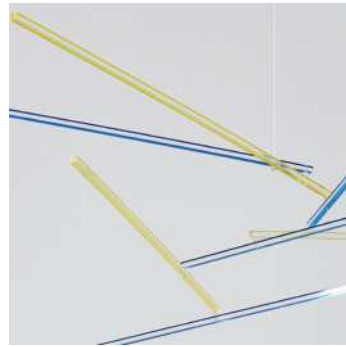
## 中村 実穂 [有限会社 mother tool 代表]

インテリアデザインを学んだのち、実家である組み立て製造会社に勤務するも、大量生産・大量廃棄型のものづくり、つくり手の見えないものづくりに疑問を感じ、2006年 プロダクトメーカー「mother tool」を設立。全国の小さな工場を訪ね、その工場の特徴を活かせるよう、今まで接点のなかった他の産地の素材や技術を組み合わせた道具を生み出している。最新の新たなチャレンジとして、2013年モビールブランド「tempo」を立ち上げ、つくる人、つたえる人、つかう人の関係を丁寧に紡ぎ、つないでいくプロダクト展開をしている。

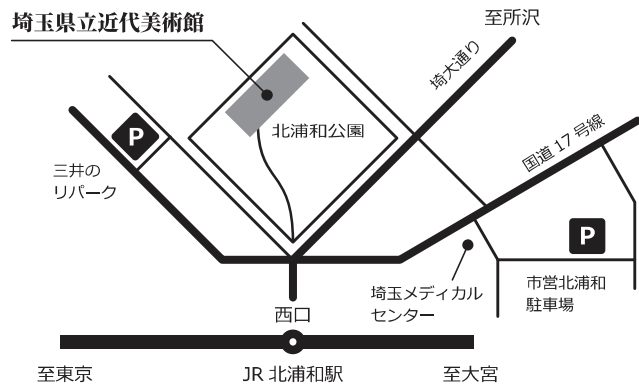


## 安西 葉子 [DRILL DESIGN]

1976年岐阜生まれ。林 裕輔とデザインスタジオを2001年設立。プロダクトデザインを中心に、グラフィック・パッケージ・空間デザインなど、カテゴリーを超えてデザインとディレクションを行う。アートディレクション、ブランディングデザイン、素材開発、用途開発、技術開発の協力など、カタチをつくる以前の段階からプロジェクトに参加することも多く、クライアントと共に新しいデザインの可能性を広げている。また、日本の高度な技術や素材をデザインを通して商品化し、世界へ向けて発信することも積極的に行っている。



## 《アクセス》



〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 9-30-1

JR 京浜東北線北浦和駅西口より徒歩 3 分

※会場に専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

## 《申し込み方法》※12月7日(木)〆切

下記の内容をご明記の上、メールにてお申し込みください。登壇者への素朴な疑問から少し踏み込んだことまで、司会者が皆様に代わってお聞きします。対談を盛り上げるのは、皆様のリアルな質問です！

[申し込み先メールアドレス]

**h6513112@pref.saitama.lg.jp**

埼玉県産業技術総合センター 事業化支援室 赤坂・大沼 宛

件名:「特別セミナー 対談2 参加申し込み」

- (1) 氏名[フリガナ]
- (2) 会社名
- (3) 業種
- (4) 電話番号
- (5) メールアドレス
- (6) 交流会への参加の有無
- (7) 登壇者への疑問や聞いてみたいことなど

## 《お問い合わせ》



埼玉県産業技術総合センター 事業化支援室

埼玉県川口市上青木3-12-18 SKIPシティ内  
8:30~17:15(平日のみ、土日祝休業)

tel: 048-265-1312  
fax: 048-265-1334  
mail: h6513112@pref.saitama.lg.jp  
URL: www.saitec.pref.saitama.lg.jp

